

5 個性きらめく滋賀の人材育成と自治の創造

心豊かでたくましい人を育む学校・社会環境づくり

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

心豊かでたくましい子どもの育成と、新しい時代にはばたく創造性に富んだ人材の育成を目指して、子どもの主体的な活動を支援することにより、健やかで自立した青少年を育むとともに、一人ひとりに確かな学力を定着させ、地域の自然環境や身近な社会的環境をフィールドとした環境教育や体験学習によって豊かな心を育むための、滋賀ならではの教育を推進する。

学校教育の推進

（1）基礎・基本の徹底と個性を伸ばす教育の充実

- ・小1・中1での少人数学級編制の実施 917,306千円
- ・基礎学力定着リサーチの実施 2,001千円
- 幼小連携推進事業 1,483千円
- ・アクティブハイスクール支援事業 34,797千円
- 未来を拓く人材の育成を目指す特色ある高校づくりの推進
- 高校の特色と大学等の特色を活かした高大連携の推進
- 高校の特色など学校情報の発信
- ・確かな学力向上プロジェクト 5,276千円
- ・キャリア教育実践推進事業 2,648千円
- 確かな学力を育む学びサポートプラン 6,748千円
- 国語力、算数・数学、中学校英語力向上事業
- ・滋賀県中高生海外ホームステイ体験プログラム 16,210千円
- 中学生海外派遣研修、高校生海外相互派遣、高校生海外生活体験研修

（2）豊かな人間性を育む教育の推進

- 豊かな心を育む異年齢交流体験事業 4,726千円
- 中学校へジャンプ交流体験事業
- 高校生と小学生交流事業
- ・高校生・自分さがし体験事業 7,853千円
- ・県立学校学習活動支援事業 8,410千円

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

・生徒指導のための教職員の配置	234,660千円
・スクールカウンセラーの配置	115,604千円
・小学校心のオアシス相談員の配置	10,650千円
・スクーリング・ケアサポーターの派遣	8,500千円
・子ども生き生き活動ネットワークの整備	21,089千円
・生徒指導緊急特別対応事業	17,751千円
▪ 適応指導教室充実事業	1,300千円
▪ 不登校児童生徒の学級への復帰支援	69,783千円
(3) 障害児教育の推進	
・病弱教育等振興費	15,211千円
・要医療的ケア児童生徒学習支援事業	2,595千円
▪ 県立障害児教育諸学校への看護師配置	24,270千円
・特別支援教育推進体制整備事業	988千円
・学習障害児等指導支援事業	3,849千円
・高等養護学校の高等学校併設に係る研究	1,540千円
(4) 教育環境の整備・充実	
・県立学校施設の整備	3,931,657千円
膳所高校の改築（校舎棟工事等）	
養護学校の再編整備（八幡養護学校・八日市養護学校）	
高等養護学校の高等学校への併設整備（長浜高校・甲南高校）	
耐震補強の実施（補強工事等）	
・教育情報ネットワーク	34,991千円
・高等学校奨学資金の貸付	306,310千円

社会全体で子どもを育てる環境づくり

子どもは「社会の宝」であることを社会全体で深く意識し、家庭や地域の教育力の強化に努め身近な地域社会で子どもを育てる環境づくりを集中的に推進する。

(1) しが子どもの世紀推進事業	26,514千円
・子どもの体験活動の機会と場の充実	

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

・家庭教育力の向上

（2）子ども読書活動の推進 3,534千円

- 子ども読書ボランティア養成講座の開催
- P T A子ども読書推進活動の実施

青少年の健全育成

青少年の体験活動や主体的な社会参加活動などを推進するとともに県民との連携のもと非行防止の充実を図るなど、社会全体で青少年を育てる気運の醸成に向けた取り組みを展開する。

（1）青少年の体験学習・体験活動（しが5つの教科書） 2,720千円

（2）青少年社会参加活動推進事業

- 自分探し・ココロみる宿泊体験事業 851千円
- 心と身体で世界を感じ、自分の生き方を見つめよう事業 693千円

（3）青少年育成地域活動支援事業 23,879千円

（4）心の冒険推進事業 5,404千円

（5）無職少年等非行防止対策事業 24,736千円

（6）非行少年等立ち直り支援事業 40,563千円

（7）学校における非行防止教室の促進 1,440千円

- （8）青少年の心理アセスメントシステムの導入 756千円

高等教育機関の充実

滋賀県立大学の平成18年4月の法人化に向けて、準備委員会を運営するとともに、人事、組織、会計制度の整備、出資財産の評価、財務会計システムの構築等を行います。

また、地域の看護力の向上を図るため、人間看護学研究科の設置に向けて検討を行うとともに、工学部の再編に向けた調査を進めるなど法人化後を見据えた取り組みも行います。

（1）法人化に向けた準備経費 167,017千円

（2）人間看護学研究科の整備に向けた検討経費 2,144千円

（3）工学部の再編に向けた検討経費 1,004千円

新しい時代にふさわしい地域づくり

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

各地域に存在する魅力を最大限生かし、活力ある地域づくりを進め、個性豊かな文化を創造し発信する。また、県民が生涯にわたり豊かなスポーツライフを送ることができるよう、はつらつとした体育・スポーツの振興を図る。

個性を生かした魅力と活力のある地域づくり

地域の特色や地域固有の課題に対応した施策を、地域住民や関係団体、市町等との協働のもとに推進し、個性を生かした魅力と活力のある地域づくりを進める。

また、県内の高等教育機関がもつ知的資源を地域づくりに生かすため、高等教育機関の連携を推進する。

（1）湖国まるごとエコ・ミュージアム推進事業	6,224千円
▪（2）「（仮称）琵琶湖塾」開催支援事業	5,300千円
（3）市町振興総合補助金	536,000千円
▪（4）自主防災組織ネットワーク化事業（大津・志賀）	1,040千円
（5）みらいの甲賀地域創造事業（甲賀）	6,226千円
（6）東近江エコ・サイクルコース整備事業（東近江）	15,403千円
（7）深雪スギ供給販売体制整備事業（湖北）	3,000千円
新（8）構造改革特区・地域再生計画推進事業	1,235千円
（9）環びわ湖大学連携推進事業	1,470千円
（10）びわ湖学生Festival2005開催事業	2,000千円

県民の社会貢献活動の促進

複雑・多様化する地域課題に的確に対応するためには、住民の身近なところで活動しているNPOとの協働は不可欠であり、平成16年度実施のしが協働モデル研究会の成果を活かし、協働のルール普及や協働の仕組みづくりに取り組むとともに、よりよい協働の推進を図る。

・しがNPO協働プロジェクト	1,677千円
----------------	---------

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

歴史文化資産の保存と活用

豊かな自然と悠久の歴史の中で育まれてきた優れた文化財や伝統文化を県民が身近に親しみ、潤いのある生活創造に活かすことができるよう、文化財の積極的な保存と活用を推進する。

(1) 文化財の調査	7,732千円
(2) 指定文化財の保存修理等補助	129,355千円
(3) 特別史跡安土城跡の調査・整備	71,095千円
(4) 史跡観音寺城跡の保存管理計画策定	3,000千円

個性豊かな文化の創造

県民が多様な文化芸術に触れる機会の充実を図るとともに、個性ある文化芸術の創造への取り組みを進め、滋賀の魅力を全国へ発信する。

・(1) しがの文化芸術・新生プロジェクト	7,200千円
(2) びわ湖ホール自主事業	389,879千円

生涯スポーツの振興

健康で明るく活力に満ちた生涯スポーツ社会の実現を目指し、学校や地域での県民の体育・スポーツ活動の振興を図る。

(1) 全国スポーツ・レクリエーション祭開催準備費	2,020千円
(2) 日本スポーツマスターズ大会開催準備費	1,000千円
(3) (仮称)びわ湖一周駅伝大会開催	66,000千円
(4) 社会体育施設の整備	336,935千円
・ 県立琵琶湖漕艇場インターハイ整備、皇子山野球場改修補助等	

創造的な自治の構築

平成17年度における取り組みとその概要（新規事業を中心に）

市町合併の促進

県内各地で合併協議が進められ、平成16年度には、合併により新たな6市が誕生する。その他の地域においても、現行合併特例法に基づく合併に向けた取組が展開されている。

このため、平成17年度においては、合併後のまちづくりに対する支援を含め、引き続き、滋賀県市町村合併支援プランに基づき、地域の取組に対する支援を行うこととする。

（1）市町合併支援特例交付金	1,280,000千円
（2）市町合併等促進事業	17,612千円
（3）市町振興資金（市町合併推進事業（無利子））貸付金	300,000千円

分権社会にふさわしい体制の整備

・道州制議論等を踏まえた地方自治制度や県のあり方検討事業	1,408千円
------------------------------	---------